

第5回墨田区介護保険事業運営協議会

議事要旨

日 時 平成20年3月21日（金） 午後2時00分から
場 所 区役所12階 121会議室

- 1 開会
- 2 平成19年度介護保険事業実績報告について【資料1】
- 3 サービス部会活動報告について【資料2～4】
- 4 墨田区基礎調査集計結果速報について【資料5～6】
- 5 その他
- 6 閉会

配布資料

- 【資料1】平成19年度墨田区介護保険事業の実施状況
- 【資料2】サービス部会活動報告
- 【資料3】第9回サービス部会議事要旨
- 【資料4】第10回サービス部会議事要旨
- 【資料5】墨田区基礎調査集計結果速報
- 【資料6】基礎調査票 高齢者の生活実態・意識調査他3件
- 【資料7】第4回墨田区介護保険事業運営協議会議事要旨

○区のお知らせ「介護保険特集号（20年1月11日発行）」

○介護サービス事業者ガイドブック2008年墨田区版

第5回墨田区介護保険事業運営協議会出席者

氏名	所属	出欠
◎平岡 公一	お茶の水女子大学教授	出席
○廣瀬 真理子	東海大学教授	出席
大山 博司	すみだ医師会	欠席
大久保 勝久	東京都向島歯科医師会	出席
柳 正明	墨田区薬剤師会	出席
相馬 正之	すみだ地域リハビリテーション連絡会	欠席
大屋 善次郎	墨田区民生委員協議会会長	出席
海宝 雄次	墨田区社会福祉事業団事務局長	出席
庄司 孝憲	墨田区社会福祉協議会事務局長	出席
羽生 隆司	特別養護老人ホームたちばなホーム施設長	出席
○阿部 博道	弁護士（墨田区法律相談員）	出席
加瀬 三郎	墨田区障害者団体連合会会長	欠席
高松 一治	墨田区老人クラブ連合会会長	出席
安藤 倉子	町会・自治会	出席
及川 栄子	墨田区介護相談員代表	出席
濱田 康子	すみだケアマネジャー連絡会代表	出席
佐藤 悟	墨田区訪問介護事業者連絡会副会長	欠席
大下 千鶴子	第1号被保険者	出席
清水 正孝	第2号被保険者	欠席
加藤 みさ子	第2号被保険者	出席
岡田 貢	墨田区企画経営室長	欠席
横山 信雄	墨田区福祉保健部長	出席
西田 みちよ	墨田区保健衛生担当部長	出席
松竹 耕治	墨田区高齢者福祉担当部長	出席

◎ 会長 ○ 副会長

事務局出席者

吉倉 信広 介護保険課長
 藤 春 加代子 高齢者福祉課長
 市川 幹夫 介護保険課管理・計画主査
 谷村 重夫 介護保険課事業者指導主査
 野原 佳久 高齢者福祉課高齢者相談主査

1 開 会

(事務局) ただいまから、第5回墨田区介護保険事業運営協議会を開催する。
冒頭、民生委員協議会会長任期満了に伴い、後任の新委員として
「大屋委員」を紹介する。

2 平成19年度介護保険事業実績報告について

(事務局) 配布資料1の「平成19年度墨田区介護保険事業の実績」に基づいて
報告・説明する。(略)

(会 長) 以上の説明について、質問・意見がありましたらお願いします。

(A委員) 苦情・事故について問題ケースはあったのか。

(事務局) 特に問題はありません。

(B委員) すみだまつりの参加は高齢者か若い方か。

(事務局) 高齢者がほとんどである。

(C委員) 訪問介護とリハビリ事業者が減っているのは。

(事務局) 12年4月以降登録のみで実績がない場合は削除している。

(D委員) 事故報告72件の内2件東京都への報告は基準があるのですか。

(副会長) 苦情の中身と合わせて報告ください。

(事務局) ただいま資料を確認して、後ほど報告します。

3 サービス部活動報告について

(会 長) サービス部会の報告をお願いします。

(副会長) サービス部会の1年間のまとめについて報告(資料2～資料4) 3つの柱
をたてて活動した。

1. 制度の普及・啓発 2. サービスの質の向上 3. 実態把握(利用者・
事業者等) すべてを網羅する活動ができなかった。

最終回部会が3月10日に開かれ、結果と来年度にむけて議論した。

1. 制度の普及啓発

① 井戸端会議 年4回あった。課題は、待ちの姿勢で手を挙げてくれ
るのを待っている状況なので、もっと積極的になってもらう方策につい
て議論した。そもそも 町内会・老人クラブをターゲットにしているのか。
もっと広く制度について知ってもらう方法を考えていかなければならな
い。問題は閉じこもり引きこもりの方への進め方である。

② イベントでのPRイベントに集まる区民は介護問題に関心がないから
企画の工夫が必要である。委員の方からアイデアをお願いしたい。
課題として、介護相談員さんと部会も一緒になってシステムを作った
が相談員が非常に微妙な立場で自分達がどうしていいか、どこまで責
任を負い、住民に働きがけできるか不明瞭であった。コンタクトが今年
薄かったので積極的に連携をとらなければならないと反省点が残った

高齢者へのお知らせの方法。印刷物の限界 細かい字の冊子は横に置かれてしまうので、1枚で大きな文字で内容を明確にしたものを工夫して、絵や図柄などを入れて作っていききたい。

2 サービスの質の向上制度

制度改正の影響が大きく、訪問介護事業者に表れている。良くなった点でケアマネと主治医との連携が改善してきている。しかし制度改正後、書類作成と事務量が増えて、本当にサービス利用者のその人らしい生活を守る業務がケアマネに疑問を抱かせる課題が多い。質の向上も制度改正により一人一人の資質だけで解決出来ない。これは人材が「燃え尽き症候群」でやめてしまったら、墨田区の人材問題に深刻さを生み出してしまうので 来年度も人材確保と質の問題を検討課題としていく。ヘルパーについても、事業者の管理コストの比率が高まって、本来の業務が圧縮され、利用者向けの仕事は減り、そうでない部分の仕事がふえて人間的なコミュニケーションが減り利用者の満足度が低くなっていく心配がある。この問題も個々の事業者が解決できるレベルではないか。引き続き部会で考えていききたい。全体として介護サービスで一番の課題は、人材問題である。資格を取って介護現場に入ることを躊躇してしまう問題もおきている。良い人材を確保できるか課題である。緊急対応や専門サービスの連携、要介護認定の公平さに課題が残ってる。対象者別にみると一人暮らし認知症高齢者への対応など問題が山積している。

3 実態把握 資料6

サービス部会では高齢者の生活実態意識調査、要介護認定調査事業者への調査、サービス従事者の就労実態に関する調査について、部会は調査の準備段階から調査表の内容を検討し、今後発表される調査結果を大切に実態把握に役立てていききたい。

特に昨年の要支援認定者の調査の中で調査した、何パーセントの人がどうしたでは足りない。特に自由意見に書いてある疑問・問題・不満・苦情などを検討していくべきで来年度にかけて自由意見を整理していききたい。墨田区は苦情が少ないけど、調査をすると自由意見に足りないことを書いてくれるので、その気持ちを尊重して大切に扱っていききたい。次年度はもっと現場を知る、地域を知る姿勢を崩さずに地域包括支援センターを見学するチャンスを作りながら現場を把握する作業もしていききたい。

(会 長) ありがとうございました。

(事務局) 先ほどの苦情等について、報告する。

9月 区民が葛飾区の施設利用中に誤嚥による死亡事故の報告 葛飾区

- 老健施設での死亡事故の報告（感染症の場合は保健所と連携して報告）
- （事務局） 都への報告基準は特に無い。都と連携し、必要な場合報告している。
- （事務局） 他苦情・不満の主な内容は、①訪問調査に関するもの ②介護認定に関するもの ③サービスの提供に関するもの ④外国人ヘルパーに関するもの。また、中でも介護保険事業者への苦情・不満、対応などに問題があれば、適宜、業者に指導をし、是正・改善に努めている。
- （A委員） 全体的には課長が答えているからよいが 踏み込んで答えてほしい
- （会 長） 苦情相談で得られた情報等を制度の改善に向けていくしくみはあるか。
- （事務局） 内部的に解決できるものは課で検討。制度上できないものもある。第5ブロック（城東5区）で情報共有して対応する場合もある。23区課長会で検討し、都から国へ要望等するシステムになっている。区から直接国へはできない。
- （会 長） サービス部会の課題と区の苦情の情報交換はありますか。
- （副会長） 作業はしていない。基礎調査の自由意見欄にいろいろな問題が上がっている。これらの内容を精査して、区の苦情と合わせて検討していきたい。
- （会 長） 苦情に関しては以上でよろしいですか。
- （E委員） PR方法について すみだまつり、井戸端会議は高齢者を対象にしたもので、なかなか高齢者は遠慮して、声を上げない。相談を受け相談員は申請したほうがいいと思うケースは、地域包括支援センター等から訪問していただくが同居している若い世代の認識が薄く、自分が介護すると言って、現状はみていない状況などがあるので、もっと若い人にPRする認識をもってほしい。
- （副会長） 緑小PTAで介護保険の説明会を一度やったが、関心がなくて成果はなかったがまた広報活動していきたい。

4 墨田区基礎調査集計結果報告について

- （会 長） 次に、墨田区介護保険基礎調査について事務局から説明。
- （事務局） 資料5・6の説明 調査・回収率の説明 墨田区の意識調査は関心が高い
- （会 長） 調査結果はまだ出ていますか。
- （事務局） 現在作成中です。
- （会 長） 調査の実施について意見はありますか。
- （副会長） 回収率が高いので、調査しただけでなく、これを受け止めて3年前との違いを比較し、部会としても取り組みたい。
- （事務局） 来年度の事業計画に向けて行ったもので、検討していきたい。

5 その他

- （会 長） 今期最後となるのでいろいろご意見をお聞かせいただきたい。
- （副会長） 地域包括センターの自己評価調査を行った。かなり評価が高かった。疑問がある。サービス部会でも検討して、包括の自己評価と実態がどこまで把握され

ているか調査して改善していければよい。

- (会 長) ありがとうございます。
- (C委員) 資料をいただいているが、前年度と現状が比較した資料がほしい。
- (会 長) 趣旨に沿うような形で次回からお願いしたい。
- (B委員) このようなチャンスをいただいてありがたい。大事な問題としてこれからもよりよい、お年寄りのためになるよう、地元にもどって活動していきたい。
- (F委員) 介護保険について勉強になった。これからはケアマネさんにも自分の意見が言える。井戸端会議などにも参加していきたい。
- (副会長) これから広がり、つながりを担う方としてよろしくをお願いしたい。
- (G委員) 107町会自治会の代表として、参加してきた。むづかしいことが多くあったが、勉強になった。これからは町会に戻り、いろいろなところで介護保険が使えることを紹介していきたい。今期で終わるがお年寄りがこれから幸せに過ごせるよう願って考えていきたい。
- (会 長) 長期に渡ってありがとうございました。地域に入って委員として活動したことを伝えてください。
- (事務局) 現委員さんは3月31日を持って満了となります。長い間ありがとうございました。
- (事務局) 本来ならば区長が挨拶するところ委員会があるため代わりにまして挨拶いたします。2年間お疲れ様でした。12年度に制度が発足以来、ようやく介護保険制度も浸透してきました。これも皆さんのご協力のおかげです。ありがとうございました。
- (会 長) ありがとうございました。本日の会議は以上で終わります。

6 閉会